

早發性痴呆症(精神乖離症)ニ於ケル 植物神經系障碍ト運動クロナキシー ノ關係ニ就イテノ研究

第3編 植物神經毒及ビソノ他2,3ノ藥物ニ依ル早發 性痴呆症ノ運動クロナキシーノ變化ニ就イテ

金澤醫科大學精神病學教室(主任早尾教授)

山 本 亮 毅

(昭和9年11月29日受附)

目 次

1. 緒 言	D. 「カルチウム」
2. 實驗成績	E. 「カリウム」
A. 「アトロピン」	F. 「ブルボカブニン」
B. 「アドレナリン」	3. 總 括
C. 「ピロカルピン」	4. 結 論

1. 緒言及ビ實驗方法

早發性痴呆症ノ植物神經系機能障碍ニ就イテ特ニ破瓜病ト緊張病トノ間ニ於テハ植物神經系ノ緊張状態ニ著明ナル差異ノ認めラレルコト及ビ兩者ノ間ニハ運動クロナキシーニ就イテモ亦著シイ相違ガアツテコト「クロナキシー」ノ相違ハ植物神經系ノ障碍ト關係アルモノナランコトハ前2編ニ於テ述ベタ所デアル。然ラバスクノ如ク植物神經障碍ヲ有シ、ソノタメニ變化ヲ來タシタモノト見ラレル早發性痴呆症ノ運動クロナキシーハ「アトロピン」「アドレナリン」「ピロカルピン」等ノ植物神經毒ニ依ツテ如何ニ影響サレルカヲ兩病型ニ就イテ比較研究シテ見ヨウ。即チ植物神經系緊張状態ニ異状ノアル場合ニハ前述ノ植物神經毒ニ對スル反應状態ニモ種々強弱ノ程度ガ見ラレル如ク植物神經系ト關係ノアル「クロナキシー」ニ於テモ亦植物神經毒ニ對シテ種々ノ相異ナレル變化ヲ呈スルデアラウコトハ容易ニ推察サレル所デアル。以上ノ植物神經毒ノ他ニ臨牀上 Vagotonic ノ症狀ニ對シテ使用サレル「カルチウム」及ビ之ニ拮抗的ニ作用スル「カリウム」ニ依ル影響或ハ動物ニ對シテ緊張病ニ認めラレルガ如キ「カタレプシー」症狀ヲ起サシメ且ツソノ運動クロナキシーヲモ緊張病ニ類似スルヨウニ變化セシメルト云ハレル「ブルボカブニン」ニ依ル影響ヲモ前述ノ兩病型ニ就イテ比較シヨウト思フ。「アトロピン」「アドレナリン」「ピロカルピン」ハ第1編ニ於ケルト同量ヲ、「カルチウム」ハ2—3%ノCaCl, 「カリウム」ハ1—2%ノKClノ何レモ水溶液ヲ前者ハ20—25cc, 後者ハ5—10ccヲ靜脈内ニ注射シ、「ブルボカブニン」ハMerck製ノモノヲ0.2—0.3gヲ皮

下注射シタ。「アトロピン」「アドレナリン」「ピロカルピン」ハ別ニソノ敏感度ヲ第1編ニ於ケルガ如ク測定シタ。運動クロナキシーノ測定ハ第2編ニ於ケルト同ジ。但シ注射前ト注射後10分カラ約15分毎ニ總計6回ノ「クロナキシー」測定ヲ各神經、筋ニ就イテナシタモノデア
ル。

2. 實驗成績

a. 「アトロピン」ニ依ル變化(第1表)

(I) 破瓜病

第1例 ○崎

「アトロピン」注射後10乃至20分ニシテ橈骨及ピ尺骨神經、二頭及ピ三頭膊筋ノ「クロナキシー」ハ何レモ輕度ニ延長シ、正中神經、淺屈指筋及ピ總指伸筋「クロナキシー」ハ注射後20乃至40分ニシテ1時的ニ或ハ持續的ニ輕度ノ短縮ヲ呈スル。而シテ延長、短縮何レノ場合ニモ略1時間前後ニシテ注射前ノ價ニ近ヅクガ一般ニ延長ハ短縮ヨリモ長時間ニ互ツテ持續スル傾向ガ認めラレル。本例ニ於テハ「アトロピン」ニ依ル脈搏ノ増加數ハ1分間ニ26ニシテ著明デア
ルニモカ、ハラズ「クロナキシー」ノ變化、特ニ其ノ延長ハ極メテ輕度デア
ル。

第2例 ○田

本例ニ於テハ「アトロピン」注射後20乃至40分ニシテ各神經及ピ伸展側ノ各筋即チ三頭膊筋、總指伸筋ニ著明ナル「クロナキシー」ノ延長ヲ來シテ何レモ1時間以上持續スル。二頭膊筋ニハ殆ンド變化ヲ認めズ、淺屈指筋ノミニ稍著明ナ「クロナキシー」ノ延長ヲ認めル。尙「アトロピン」ニ依ル脈搏増加ハ輕度デア
ルニモカ、ハラズ「クロナキシー」ノ著明ナル延長ガ多數ノ神經、筋ニ見レルコトハ前第1例ト全ク反對ノ現象デア
ル。

第3例 ○○谷

本例ニ於テハ尺骨神經ニ於テ輕度ノ「クロナキシー」ノ短縮ヲ認めルノミデ他ノ總ベテノ神經、筋ニ於テハ延長ヲ來ス。而シテ其ノ延長ハ伸展側ノ筋、特ニ總指伸筋ニ於テ著明デア
ル。「クロナキシー」ノ延長ハ「アトロピン」注射後20乃至40分ニシテ著明ニ現ハレ何レモ注射1時間後尙延長ヲ持續シテキル。尺骨神經ノ「クロナキシー」短縮ハ輕度ニシテ正中神經ハ「アトロピン」注射後30分前後ニ於テ1時的ニ輕度ノ短縮ヲ來スガ次デ注射前ノ價ヨリ以上ニ延長スル。「アトロピン」ニ依ル脈搏増加ハ輕度デア
ルガ「クロナキシー」ノ延長ハ極メテ著明デア
ルコトハ第2例ト同様デア
ル。

第4例 ○藤

本例ニ於テハ橈骨及ピ正中神經、總指伸筋ニ於テハ著明ナル、三頭膊筋、淺屈指筋ニ於テハ輕度ナル「クロナキシー」ノ延長ヲ認め、尺骨神經、三頭膊筋ニハ輕度ノ短縮ヲ見ル、而シテ此ノ「クロナキシー」ノ短縮ハ極メテ短時間認めラレルノミデ間モナク注射前ノ價ニ近ヅク。又橈骨及ピ正中神經ニ於ケルガ如ク著明ナ延長ヲ來タスモノニアツテモ1時的ニ輕度ノ短縮ヲ見ルモノモアル。一般ニ「クロナキシー」ノ短縮ハ1時的デア
ルノニ反シテ延長ハ可ナリ長時間持續スルノヲミル。本例ノ「アトロピン」ニ依ル脈搏増加數ハ1分間ニ20ニ達シ、「アトロピン」反應ハ相當著明ナルモノトミルベク且ツ「クロナキシー」ノ延長モ亦著明デア
ル。

第5例 ○松

橈骨及び正中神経、二頭膊筋、淺屈指筋、總指伸筋ノ「クロナキシー」ハ延長シ、尺骨神経、三頭膊筋ノソレハ輕度ニ短縮スル。但シ橈骨神経、正中神経ニ於テハ1時的ニ輕度ノ短縮ヲ來タスモ、橈骨神経、總指伸筋ノ「クロナキシー」延長ハ極メテ著明デアル。尙「アトロピン」注射ニ依ル脈搏増加ハ20ニ及ブ。

(II) 緊張病

第1例 ○木

本例ニ於テハ三頭膊筋ガ可ナリ著シイ延長ヲ來タス。以外他ノ總ベテノ神経、筋ノ「クロナキシー」ノ變化ハ延長、短縮何レモ極メテ輕度デアル。又「アトロピン」ニ依ル脈搏ノ増加モ餘リ著明デナイ。

第2例 ○畑

本例ハ「アトロピン」注射ニ依テソノ脈搏増加ハ甚ダ著シク1分間ニ36ニ達スル。然ルニ「アトロピン」ニ依ル「クロナキシー」ノ變化ハ延長、短縮何レモ甚ダ僅少ニシテ殆ソド生理的動搖ノ範圍内ヲ出ナイ程度デアル。

第3例 ○部

本例モ前第2例ト同ジク「アトロピン」ニ依テ脈搏數ハ甚ダ著明ニ増加シ且可ナリ劇シイ心悸亢進ト口渴ヲ訴ヘルガ各神経、筋ノ「クロナキシー」ノ變化ハ極メテ輕イ。特ニ普通「アトロピン」ニ依テ最も著明ニ「クロナキシー」ノ延長ヲ來ス總指伸筋ニ於テハ反テ相當著シイ短縮ヲサヘ呈シテキル。

第4例 ○倉

本例モ「アトロピン」注射ニ依テ増加スル脈搏増加數ハ1分間ニ20ニシテ「アトロピン」反應ノ陽性ト見ナスベキ例デアルガ「クロナキシー」ノ變化ニ就イテハ三頭膊筋ニ稍著シイ延長ヲ認メルノミデ他ノ神経、筋ニ於テハ極メテ輕度ノ變化ヲ呈スルニスギズ、特ニ橈骨神経ニ於テハ著シイ短縮ヲ認メル。

第5例 ○川

本例ハ「アトロピン」注射ニ依テ脈搏數ハ極メテ著シイ増加ヲ來タシ「アトロピン」反應ハ強陽性ノ例ト見ナサレルガ「クロナキシー」ノ變化ハ反對ニ極メテ僅少デアル。即チ總ベテノ神経、筋ニ於テ極メテ輕度ノ「クロナキシー」ノ延長ヲ認メルニ過ギナイ。

以上早發性痴呆症ノ破瓜病ト緊張病ノ2型ニ就イテ「アトロピン」ニ依ル脈搏増加ヤ「クロナキシー」ノ變化ヲ比較シテ見ルニ、緊張病ニ於テハ「アトロピン」ニ對スル反應ガ著シク強イコト、及ビ「アトロピン」注射前ニ既ニ各神経及び筋ノ「クロナキシー」ハ著シク短縮シテキルコトハ(特ニ總指伸筋、橈骨神経ノ如ク健康者ニ於テ、大ナル「クロナキシー」ヲ有スル神経、筋ニ於テ)前2篇ニ於テ述ベタ成績ト一致シテキル。次ニ「アトロピン」注射ニ依ル「クロナキシー」ノ變化ヲミルニ神経、筋ノ運動クロナキシーハ「アトロピン」ニ依テ延長スルモノトサレテキルガ破瓜病ニ於テハ全體トシテソノ「クロナキシー」ハ明カニ延長シテアリ且ツ著明ナモノガ相當多數存在シテキル。特ニ伸展側ノ末梢部ニ於ケル筋即チ總指伸筋及び之ヲ支配シテキル橈骨神経ハ極メテ著明ナモノガアル。又破瓜病ニ於テ上膊筋ノ如ク比較的小ナル「クロナキシー」ヲ有スルモノニアツテハ「アトロピン」ニ依テ短縮ヲ來タスガ如キモノモアルガ大體生理的動搖ノ範圍ヲ出テズ且延長ハ割合ニ持續的デアルニモカ、ハラズ短縮ハ極メテ1時的ニ過ギヌモノガ多イ。

然ルニ緊張病ニ於テハ、破瓜病ニ於テ著明ナル延長ヲ來ス總指伸筋、橈骨神経等ノ「クロナキシー」延長ハ極メテ輕度デ、ムシロ可ナリ著シイ短縮ヲサヘ來スモノモアリ、他ノ神経、筋ニ於テモ同様ニ「アトロピン」ニ依ル「クロナキシー」ノ延長ハ破瓜病ニ比較シテ極メテ輕度デアル。又「アトロピン」注射ニ依ル脈搏増加ノ程度ト「クロナキシー」ノ變化トノ關係ヲミルニ破瓜病ニ於テ脈搏増加ノ著シイモノデハ「クロナキシー」ノ延長ガ極メテ輕度デアルコトハ緊張病ノ大多數モ亦脈搏増加ガ甚ダ著明デ且ツ「クロナキシー」

第 1 表 「アトロピン」= 依ル變化

(I) 破 瓜 病																	
		橈骨神経		正中神経		尺骨神経		二頭膊筋		三頭膊筋		浅屈指筋		總指伸筋		脈 膊 數	
		レ オ バーゼ (ボルト)	クロ ナ キシ- (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロ ナ キシ- (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロ ナ キシ- (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロ ナ キシ- (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロ ナ キシ- (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロ ナ キシ- (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロ ナ キシ- (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロ ナ キシ- (シグマ)
1. ○ 崎	注 射 前	51	0.140	25	0.400	43	0.080	31	0.056	52	0.100	43	0.088	85	0.120		
	注射後 10-20分	48	0.140	21	0.400	38	0.108	24	0.060	52	0.100	48	0.088	84	0.120		
	" 20-40 "	48	0.180	28	0.340	32	0.100	26	0.068	51	0.116	41	0.080	70	0.108	54	26
	" 40-60 "	45	0.160	51	0.320	38	0.092	25	0.068	46	0.096	47	0.080	61	0.120		
	" 60-80 "	49	0.140	48	0.340	40	0.092	27	0.060	49	0.096	48	0.080	64	0.120		
2. ○ 田	注 射 前	33	0.340	40	0.560	55	0.320	18	0.060	56	0.108	32	0.148	40	0.240		
	注射後 10-25分	35	0.520	30	0.400	46	0.520	23	0.060	56	0.160	35	0.120	46	0.240		
	" 25-40 "	31	0.600	27	0.560	36	0.320	22	0.060	65	0.120	31	0.100	47	0.480	68	13
	" 40-55 "	32	0.600	27	0.600	46	0.480	20	0.060	57	0.128	20	0.120	41	0.400		
	" 55-70 "	37	0.540	31	0.500	49	0.420	19	0.060	62	0.120	30	0.132	48	0.420		
3. ○ ○ 谷	注 射 前	47	0.160	42	0.140	55	0.120	21	0.060	42	0.060	51	0.100	55	0.420		
	注射後 10-25分	45	0.160	48	0.120	48	0.120	20	0.060	45	0.060	55	0.100	57	0.420		
	" 25-40 "	38	0.180	42	0.100	38	0.100	19	0.068	51	0.100	41	0.100	41	0.800	50	12
	" 40-55 "	52	0.180	56	0.160	46	0.100	26	0.068	57	0.080	55	0.120	42	0.720		
	" 55-70 "	47	0.172	47	0.152	43	0.104	22	0.060	54	0.080	52	0.112	50	0.720		
4. ○ 藤	注 射 前	42	0.240	31	0.140	36	0.120	20	0.056	42	0.100	47	0.100	71	0.260		
	注射後 10-25分	42	0.200	38	0.140	41	0.120	20	0.056	45	0.100	60	0.120	73	0.280		
	" 25-40 "	40	0.280	36	0.136	39	0.080	21	0.056	41	0.084	45	0.088	60	0.480	61	21
	" 40-55 "	37	0.320	36	0.200	35	0.100	18	0.060	47	0.084	40	0.088	67	0.600		
	" 55-70 "	39	0.320	43	0.180	40	0.120	25	0.060	39	0.100	54	0.100	72	0.600		
5. ○ 松	注 射 前	42	0.252	32	0.144	35	0.124	21	0.060	46	0.108	46	0.104	66	0.220		
	注射後 10-25分	40	0.208	38	0.136	37	0.120	20	0.060	45	0.088	52	0.112	67	0.320		
	" 25-40 "	40	0.280	36	0.140	35	0.120	20	0.060	41	0.096	45	0.100	60	0.440	68	20
	" 40-55 "	37	0.320	36	0.182	36	0.120	19	0.060	45	0.096	40	0.080	65	0.480		
	" 55-70 "	41	0.300	40	0.152	41	0.100	20	0.064	39	0.092	41	0.100	61	0.400		

【 219 】

早發性病呆症(精神乖離症)ニ於ケル植物神経系障時ト運動クロナキシ-
ノ關係ニ就テテノ研究

(II) 緊 張 病																	
1. ○ 木	注 射 前	51	0.240	48	0.140	49	0.132	20	0.080	40	0.096	29	0.096	60	0.084	64	10
	注射後 10-25分	56	0.280	51	0.140	51	0.132	20	0.080	46	0.096	27	0.096	61	0.100		
	" 25-40 "	56	0.280	50	0.140	50	0.128	19	0.080	43	0.090	27	0.096	51	0.096		
	" 40-55 "	52	0.240	53	0.140	48	0.128	21	0.088	41	0.160	28	0.088	52	0.096		
	" 55-70 "	49	0.240	47	0.148	44	0.128	20	0.080	42	0.160	33	0.088	55	0.080		
2. ○ 畑	注 射 前	36	0.220	45	0.212	54	0.096	20	0.056	35	0.064	54	0.088	82	0.284	60	36
	注射後 10-25分	36	0.240	47	0.208	49	0.096	21	0.056	37	0.060	55	0.088	80	0.284		
	" 25-40 "	31	0.184	50	0.212	43	0.120	19	0.060	28	0.072	49	0.100	75	0.288		
	" 40-55 "	44	0.220	50	0.212	40	0.088	20	0.060	33	0.064	54	0.116	81	0.284		
	" 55-70 "	40	0.184	43	0.240	41	0.116	23	0.060	30	0.064	51	0.108	80	0.284		
3. ○ 部	注 射 前	58	0.184	51	0.120	44	0.108	40	0.056	63	0.080	54	0.060	53	0.108	68	30
	注射後 10-25分	40	0.192	52	0.124	44	0.100	39	0.060	56	0.080	56	0.060	59	0.054		
	" 25-40 "	39	0.192	55	0.136	51	0.120	41	0.060	56	0.084	57	0.060	47	0.060		
	" 40-55 "	39	0.188	48	0.132	50	0.120	38	0.060	64	0.084	54	0.060	54	0.080		
	" 55-70 "	42	0.184	50	0.128	50	0.088	39	0.056	63	0.080	57	0.060	52	0.080		
4. ○ 倉	注 射 前	76	0.200	91	0.104	60	0.100	47	0.048	97	0.056	60	0.060	85	0.108	60	20
	注射後 10-25分	66	0.136	74	0.100	64	0.088	48	0.052	90	0.060	63	0.052	85	0.100		
	" 25-40 "	80	0.140	89	0.096	58	0.092	47	0.052	91	0.084	61	0.060	100	0.100		
	" 40-55 "	71	0.120	80	0.120	68	0.096	43	0.060	76	0.100	70	0.060	87	0.096		
	" 55-70 "	75	0.132														
5. ○ 川	注 射 前	70	0.188	60	0.124	48	0.136	43	0.056	63	0.080	65	0.088	80	0.160	60	36
	注射後 10-25分	73	0.200	63	0.136	47	0.140	47	0.056	62	0.076	79	0.092	85	0.160		
	" 25-40 "	68	0.204	45	0.140	50	0.140	45	0.060	65	0.088	62	0.096	82	0.180		
	" 40-55 "	71	0.200	59	0.132	51	0.132	45	0.060	59	0.084	67	0.088	78	0.180		
	" 55-70 "	75	0.192	66	0.132	47	0.132	40	0.060	66	0.084	71	0.092	83	0.160		

ノ延長ガ甚ダ輕度デアルコトハ「アトロピン」ノ敏感度トアトロピンニ依ル「クロナキシー」ノ延長トハ略反比例スルモノト見ラレル。要スル「アトロピン」ニ依ル破瓜病ト緊張病ノ「クロナキシー」ノ變化ハ「アトロピン」ノ敏感度即チ兩病型間ノ迷走神經緊張狀態ノ差異ト關係アルモノト思ハレル。

b. 「アドレナリン」ニ依ル變化(第2表)

(I) 破瓜病

第1例 ○崎

本例ニ於テハ「アドレナリン」注射後橈骨神經ノ「クロナキシー」ガ稍々短縮スルガ他ノ神經、筋ノ「クロナキシー」ハ總ベテ延長シ、特ニ正中神經、總指伸筋ニ於テ著明デアル。「アドレナリン」注射ニ依ル脈搏増加數ハ1分間ニ12血壓上昇ハ45mmデ、著明ナル心悸充進ヲ訴フ。

第2例 ○田

本例ニ於テハ正中神經ノ「クロナキシー」ガ極メテ輕度ノ短縮ヲ來タスモ他ノ神經、筋ハ總ベテ著明ナル延長ヲ來タス。然シナガラ「アドレナリン」ニ依ル脈搏増加、血壓上昇何レモ輕度ニシテ心悸充進ヲ訴ヘナイ。

第3例 ○○谷

總ベテ神經、筋ノ「クロナキシー」ハ「アドレナリン」注射ニ依テ注射前ノ價ニ比シテ著明ニ延長スル。但シ正中神經ニ於ケルガ如ク一時的ニ可ナリ著シイ短縮ヲ呈スルモノモアル。尙「アドレナリン」ニ依ル脈搏増加數ハ15、血壓上昇ハ65mm、心悸充進甚ダ著明デアル。

第4例 ○藤

本例ノ神經、筋總ベテハ「クロナキシー」ノ延長ヲ呈スルガ特ニ前膊筋ニ於テ著明デアル。神經、上膊筋ニ於テハ一時的ニ短縮ヲ來スモノモアルガ極メテ輕度デアル。而シテ「アドレナリン」ニ依ル脈搏増加ハ16、血壓上昇ハ50mm、心悸充進ヲ訴ヘルコト可ナリ著明デアル。

第5例 ○松

本例ニ於テハ各筋何レモ「クロナキシー」ノ著明ナ延長ヲ來ス。神經ニアツテハ輕度ノ短縮ヲ示スモノモアルガ延長ノ相當ニ著明ナモノモアル。尙「アドレナリン」注射ニ依ル脈搏増加數ハ8、血壓上昇ハ34mm、輕度ノ心悸充進ヲ訴ヘル。

(II) 緊張病

第1例 ○木

橈骨神經、2頭膊筋、總指伸筋ノ「クロナキシー」ハ何レモ「アドレナリン」注射ニ依テ輕度ノ延長ヲ來ス、ソノ他ノ神經、筋ハ一時ハ延長シ、間モナク反對ニ短縮スル傾向ヲ有スルモノノ「クロナキシー」ノ變動ハ極メテ輕度ナモノデアル。尙「アドレナリン」ニ依ル血壓上昇ハ24mm、脈搏増加ハ11デアル。

第2例 ○畑

本例ニ於テハ「アドレナリン」注射ニ依ル脈搏増加ハ甚ダ著明ニシテ1分間ニ33ニ達シ、血壓上昇ハ15mm、ナルモ「クロナキシー」ノ變化ハ極メテ輕度デアル。即チ橈骨及ビ正中神經、三頭膊筋ニハ輕度ノ短縮ヲ、ソノ他ノ神經、筋ニハ輕度ノ延長ヲ來タスニ過ギナイ。但シ三頭膊筋ニハ注射後間モナク一時的ニ輕度ノ延長ヲ、總指伸筋ニハ同様ノ短縮ヲ來ス。

第3例 ○部

本例ノ橈骨及ビ正中神經、三頭膊筋、淺屈指筋等ノ「クロナキシー」ハ「アドレナリン」注射ニ依ツテ稍著

第 2 表 「アドレナリン」ニ依ル變化

(I) 破 瓜 病																
		機骨神経		正中神経		尺骨神経		二頭膊筋		三頭膊筋		浅屈指筋		總指伸筋		「アドレナリン」注射ニ依ル他ノ症状
		レ パーゼ (ボルト)	オ クシー (シグマ)	レ パーゼ (ボルト)	オ クシー (シグマ)	レ パーゼ (ボルト)	オ クシー (シグマ)	レ パーゼ (ボルト)	オ クシー (シグマ)	レ パーゼ (ボルト)	オ クシー (シグマ)	レ パーゼ (ボルト)	オ クシー (シグマ)	レ パーゼ (ボルト)	オ クシー (シグマ)	
1. ○ 崎	注 射 前	47	0.180	46	0.160	37	0.120	45	0.060	57	0.100	50	0.080	74	0.200	脈搏増加 12 血壓上昇 45 心悸亢進 +
	注射後 10-25分	53	0.172	52	0.320	38	0.100	52	0.060	49	0.100	45	0.080	62	0.280	
	〃 25-40〃	55	0.160	53	0.300	42	0.120	50	0.060	55	0.116	49	0.080	59	0.320	
	〃 40-55〃	52	0.152	47	0.200	37	0.120	32	0.068	49	0.100	44	0.120	56	0.280	
	〃 55-70〃	51	0.180	50	0.220	40	0.120	37	0.068	52	0.100	47	0.100	58	0.260	
2. ○ 田	注 射 前	27	0.400	21	0.480	15	0.400	26	0.060	32	0.100	28	0.120	43	0.280	脈搏増加 6 血壓上昇 20
	注射後 10-25分	32	0.480	17	0.440	19	0.480	38	0.060	30	0.140	32	0.140	48	0.320	
	〃 25-40〃	32	0.600	27	0.440	18	0.600	27	0.064	42	0.120	33	0.144	50	0.400	
	〃 40-55〃	41	0.720	20	0.440	15	0.720	21	0.068	50	0.120	27	0.140	42	0.480	
	〃 55-70〃	39	0.600	21	0.420	17	0.700	24	0.064	44	0.140	29	0.124	43	0.600	
3. ○ ○ 谷	注 射 前	55	0.140	36	0.164	42	0.096	26	0.068	43	0.056	51	0.080	66	0.220	脈搏増加 17 血壓上昇 65 心悸亢進 +
	注射後 10-25分	42	0.204	47	0.120	28	0.126	27	0.060	52	0.068	55	0.084	68	0.224	
	〃 25-40〃	42	0.192	43	0.140	40	0.120	28	0.064	43	0.064	50	0.096	68	0.340	
	〃 40-55〃	45	0.160	38	0.176	39	0.088	27	0.064	38	0.080	52	0.100	61	0.280	
	〃 55-70〃	47	0.124	50	0.212	40	0.088	32	0.064	38	0.070	55	0.104	66	0.240	
4. ○ 藤	注 射 前	49	0.180	44	0.120	37	0.088	18	0.060	50	0.064	47	0.084	64	0.244	脈搏増加 8 血壓上昇 34 心悸亢進 ++
	注射後 10-25分	49	0.184	42	0.108	38	0.092	21	0.068	54	0.060	58	0.088	64	0.380	
	〃 25-40〃	53	0.212	42	0.126	40	0.080	21	0.080	55	0.064	55	0.140	75	0.324	
	〃 40-55〃	55	0.212	45	0.120	32	0.084	23	0.084	51	0.068	50	0.160	61	0.280	
	〃 55-70〃	46	0.208	41	0.120	36	0.088	20	0.080	62	0.080	52	0.120	61	0.284	
5. ○ 松	注 射 前	27	0.104	35	0.180	31	0.092	65	0.080	45	0.120	48	0.064	39	0.220	脈搏増加 12 血壓上昇 38 心悸亢進 +
	注射後 10-25分	27	0.100	27	0.220	28	0.096	60	0.072	47	0.260	49	0.060	54	0.254	
	〃 25-40〃	28	0.088	33	0.184	29	0.092	58	0.104	51	0.168	51	0.140	52	0.520	
	〃 40-55〃	31	0.096	40	0.210	30	0.100	58	0.080	48	0.100	45	0.160	51	0.320	
	〃 55-70〃	29	0.100	38	0.200	27	0.096	61	0.080	50	0.100	48	0.140	48	0.240	

(II) 緊 張 病																
1. ○ 木	注 射 前	48	0.180	45	0.120	38	0.112	25	0.056	35	0.084	32	0.096	59	0.140	脈搏増加 11
	注射後 10-25分	55	0.200	39	0.120	42	0.116	26	0.060	40	0.080	30	0.100	65	0.160	
	" 25-40"	44	0.212	41	0.132	39	0.120	23	0.056	42	0.076	28	0.088	54	0.156	血壓上昇 24
	" 40-55"	52	0.200	40	0.116	38	0.100	19	0.056	39	0.080	31	0.084	48	0.156	
	" 55-70"	39	0.188	39	0.112	45	0.108	26	0.060	43	0.088	35	0.092	55	0.160	
2. ○ 畑	注 射 前	37	0.184	52	0.184	52	0.084	37	0.064	57	0.144	45	0.072	65	0.220	脈搏増加 33
	注射後 10-25分	41	0.160	60	0.164	48	0.088	21	0.068	58	0.160	45	0.076	63	0.204	
	" 25-40"	41	0.184	54	0.172	48	0.084	23	0.068	60	0.084	38	0.076	68	0.220	血壓上昇 15
	" 40-55"	42	0.180	52	0.172	36	0.084	28	0.064	58	0.080	35	0.072	60	0.216	
	" 55-70"	40	0.180	56	0.180	41	0.080	30	0.068	57	0.088	40	0.076	62	0.208	
3. ○ 部	注 射 前	49	0.160	66	0.136	58	0.116	46	0.056	38	0.080	55	0.080	55	0.080	脈搏増加 23
	注射後 10-25分	43	0.168	60	0.140	47	0.100	53	0.060	60	0.120	63	0.080	50	0.080	
	" 25-40"	44	0.192	58	0.140	34	0.120	60	0.060	71	0.100	60	0.092	61	0.100	血壓上昇 50
	" 40-55"	41	0.192	71	0.180	51	0.108	61	0.056	58	0.108	68	0.120	49	0.104	
	" 55-70"	45	0.188	65	0.152	48	0.112	44	0.064	65	0.096	58	0.100	51	0.100	
4. ○ 倉	注 射 前	66	0.192	81	0.108	59	0.100	52	0.052	60	0.064	72	0.080	78	0.140	脈搏増加 10
	注射後 10-25分	58	0.196	68	0.100	65	0.120	48	0.052	73	0.060	66	0.088	85	0.140	
	" 25-40"	65	0.200	65	0.100	67	0.132	55	0.060	72	0.068	69	0.080	81	0.180	血壓上昇 35
	" 40-55"	61	0.204	66	0.108	55	0.132	43	0.064	68	0.064	70	0.076	78	0.184	
	" 55-70"	59	0.200	73	0.100	53	0.120	44	0.060	70	0.068	63	0.088	77	0.164	
5. ○ 川	注 射 前	71	0.160	59	0.180	55	0.120	32	0.056	61	0.080	69	0.100	82	0.156	脈搏増加 18
	注射後 10-25分	68	0.160	70	0.164	60	0.144	24	0.056	55	0.088	75	0.120	91	0.170	
	" 25-40"	73	0.140	67	0.160	54	0.140	21	0.060	49	0.080	72	0.124	87	0.176	血壓上昇 25
	" 40-55"	63	0.144	67	0.172	57	0.132	25	0.052	53	0.072	68	0.132	77	0.140	
	" 55-70"	70	0.156	72	0.160	51	0.140	28	0.056	52	0.076	73	0.108	88	0.160	

早發性癡呆症(精神不穩症)ニ於ケル植物神經系障礙ト運動クロナキシーノ關係ニ就テノ研究

明ナル延長ヲ呈スルガ、ソノ他ノ神經、筋ノ延長ハ極メテ輕度デア。又尺骨神經ノ如ク一時短縮スルモノモアル。尙本例ハ「アドレナリン」注射ニ依ツテ著明ナル症狀ヲ呈スル。即チ脈搏増加ハ23、血壓上昇ハ50mm、心悸亢進著明、振顫ヲ伴フ。

第4例 ○倉

橈骨神經、尺骨神經、二頭膊筋、總指伸筋ニ於テハ「クロナキシー」ノ延長ヲ來ス。而シテ尺骨神經、總指伸筋ノ延長ハ稍著シイ方デア。ソノ他ノモノニ於テハ「クロナキシー」ノ變動ハ極メテ輕度デア。ル。「アドレナリン」ニ依ル脈搏増加ハ10、血壓上昇ハ35mmデア。ル。

第5例 ○川

尺骨神經及ヒ前膊筋ノ「クロナキシー」ハ稍著シイ延長ヲ來タス。橈骨、正中神經ハ輕度ノ短縮ヲ、又上膊筋ニハ何レモ一時延長ヲ、或ハ一時短縮ヲ來タスノヲ認メルモ、ソノ變動ハ極メテ輕度デア。ル。尙「アドレナリン」ニ依ル脈搏増加數ハ1分間ニ18、血壓上昇ハ最高25mmニ達スル。

以上「アドレナリン」注射ニ依ル運動クロナキシーノ變化ヲ破瓜病、緊張病ニ就イテ比較シテミルニ、破瓜病ニ於テハ明ラカニソノ延長ヲ認メ得ルガ緊張病ニ於テハ極メテ輕度デア。ル。特ニ破瓜病ニ於テハ總指伸筋クロナキシーノ延長ガ著明デアツテ而カモ「アトロピン」ニ依ツテ著明ニ延長スルモノハ「アドレナリン」ニ依ツテモ亦著明ニ延長シテキルノヲ認メル。又「アドレナリン」ニ依ル血壓上昇、脈搏増加等ノ症狀ノ強弱ト「クロナキシー」ノ變化ノ程度トノ關係ヲミルニ破瓜病ニ於テハ血壓上昇、脈搏増加等ノ著シイモノニハ却ツテ「クロナキシー」ノ延長ガ輕度テ血壓上昇、脈搏増加ノ比較的輕度ナモノニ於テ却ツテ「クロナキシー」ノ延長ガ著明ナモノガアル。緊張病ニ於テモ同様な結果ガ認めラレ。

又「アトロピン」ニ於テハ一般ニ「クロナキシー」ノ延長ヲ認メルガ輕度或ハ可ナリ著シイ短縮ヲ來タスモノモ多少存在シテキルモ「アドレナリン」注射ニ際シテハ「クロナキシー」ノ延長ハ特ニ「アトロピン」ニ比シテ著シイトハ限ラヌガ短縮ヲ來タスモノハ甚ダ少ナイコトハ「アトロピン」試験ニ於テ脈搏ニ逆反應ガ多ク「アドレナリン」試験ニ於テ甚ダ少ナイ事實ハ一致スルノデハナイカト思フ。

C, 「ピロカルピン」ニ依ル變化。(第3表)

(I) 破瓜病

第1例 ○崎

本例ノ總指伸筋クロナキシーハ「ピロカルピン」ニ依ツテ著明ナ短縮ヲ來タス。二頭膊筋、淺屈指筋ハ輕度ノ短縮ヲ呈スル。橈骨、正中、尺骨ノ各神經及ヒ三頭膊筋ハ何レモ可ナリ著シイ「クロナキシー」ノ延長ヲ來タスガ三頭膊筋ニ於テハ注射後間モナク一時的ニ可ナリ著シイ短縮ヲ來タシ次第著明ニ延長スル。尙「ピロカルピン」ニ依ル脈搏増加數ハ15、流涎量ハ150cc、發汗モ著シク、嘔氣ヲ伴フ。

第2例 ○田

本例ニ於テハ三頭膊筋ノ「クロナキシー」ガ多少延長スル傾向ヲ呈シテキル以外、總ベテノ神經、筋ニ於テハ「クロナキシー」ノ短縮ヲ來タス。特ニ正中及ヒ尺骨神經、總指伸筋ニ於ケル短縮ハ著明デア。ル。而シテ「ピロカルピン」注射ニ依ル流涎量ハ150cc、脈搏増加ハ14、發汗甚ダシクシテ嘔氣ヲ伴フ。

第3例 ○〇谷

本例ニ於テハ尺骨神經及ヒ三頭膊筋ノ「クロナキシー」ガ「ピロカルピン」注射後輕度ノ短縮ヲ示スノミニシテ他ノ神經、筋何レモ「クロナキシー」ノ延長ヲ來シ且ツ相當ニ著明ナモノガ多イ。斯ノ如ク「クロナキシー」ノ短縮ガ輕度ニシテ延長ガ著明ニシテ且ツ大多數ヲ占メル點ハ前2例ト異ナル所デア。尙「ピロカ

第 3 表 「ピロカルピン」= 依ル變化

(I) 破 瓜 病																
		橈骨神經		正中神經		尺骨神經		二頭膊筋		三頭膊筋		淺屈指筋		總指伸筋		(ピロカルピン)=依ル他ノ症状
		レオ パーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レオ パーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レオ パーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レオ パーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レオ パーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レオ パーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レオ パーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	
1. ○ 崎	注 射 前	45	0.140	50	0.160	36	0.144	23	0.064	55	0.122	44	0.084	73	0.284	脈搏増加 15
	注射後 10-25分	46	0.144	52	0.400	39	0.240	29	0.060	61	0.084	44	0.080	75	0.240	流 涎 量150cc
	” 25-40”	54	0.160	45	0.320	38	0.212	29	0.064	43	0.136	51	0.080	67	0.248	發 汗 卅
	” 40-55”	62	0.200	47	0.284	35	0.160	27	0.060	61	0.160	48	0.084	66	0.204	嘔 氣 十
	” 55-70”	45	0.176	44	0.280	41	0.160	21	0.060	58	0.180	47	0.080	68	0.204	
2. ○ 田	注 射 前	35	0.480	21	0.620	28	0.400	23	0.076	31	0.140	29	0.212	50	0.240	脈搏増加 14
	注射後 10-25分	36	0.480	21	0.612	29	0.360	25	0.072	30	0.144	35	0.180	55	0.224	流 涎 量150cc
	” 25-40”	39	0.440	24	0.480	28	0.360	21	0.076	28	0.144	28	0.160	71	0.104	發 汗 卅
	” 40-55”	42	0.440	27	0.400	27	0.240	24	0.072	32	0.140	27	0.200	68	0.160	嘔 氣 十
	” 55-70”	37	0.400	23	0.400	30	0.224	26	0.072	32	0.140	33	0.180	55	0.160	
3. ○ ○ 谷	注 射 前	50	0.140	55	0.140	40	0.120	27	0.080	30	0.084	65	0.160	61	0.240	脈搏増加 12
	注射後 10-25分	42	0.148	45	0.148	38	0.120	24	0.084	30	0.080	60	0.160	40	0.240	流 涎 量150cc
	” 25-40”	37	0.180	45	0.160	27	0.112	24	0.084	27	0.080	53	0.212	50	0.320	發 汗 十
	” 40-55”	40	0.160	39	0.228	30	0.120	22	0.080	27	0.084	50	0.184	49	0.380	
	” 55-70”	42	0.148	47	0.212	31	0.120	21	0.080	42	0.084	58	0.200	51	0.312	
4. ○ 藤	注 射 前	45	0.240	38	0.164	37	0.116	32	0.060	72	0.120	59	0.112	63	0.320	脈搏増加 10
	注射後 10-25分	35	0.280	30	0.280	40	0.120	24	0.072	60	0.120	65	0.088	55	0.400	流 涎 量170cc
	” 25-40”	38	0.316	35	0.280	41	0.160	21	0.076	57	0.088	70	0.080	48	0.620	發 汗 卅
	” 40-55”	36	0.320	34	0.212	42	0.140	28	0.076	45	0.080	58	0.140	55	0.680	嘔 氣 十
	” 55-70”	34	0.260	36	0.160	45	0.124	30	0.072	53	0.088	66	0.140	63	0.600	尿意頻數
5. ○ 松	注 射 前	47	0.220	32	0.176	39	0.156	25	0.060	45	0.092	47	0.100	59	0.284	脈搏増加 10
	注射後 10-25分	50	0.220	39	0.170	39	0.160	24	0.060	39	0.096	48	0.100	65	0.260	流 涎 量140cc
	” 25-40”	48	0.240	41	0.176	36	0.160	21	0.060	42	0.096	57	0.096	63	0.220	發 汗 卅
	” 40-55”	39	0.240	41	0.176	32	0.140	27	0.064	41	0.100	50	0.096	58	0.220	
	” 55-70”	39	0.240	38	0.200	35	0.148	23	0.060	45	0.092	41	0.092	67	0.240	

【 225 】

早發性癱瘓症(精神痙攣症)ニ於ケル植物神經系障礙ト運動クロナキシニーノ關係ニ就テテノ研究

(II) 緊 張 病																
1. ○ 木	注 射 前	51	0.192	53	0.140	42	0.122	18	0.060	42	0.096	29	0.120	59	0.160	脈搏增加 8 流涎量180cc 發汗 +
	注射後 10-25分	47	0.200	48	0.120	39	0.100	23	0.060	32	0.092	35	0.132	70	0.180	
	" 25-40"	45	0.220	45	0.124	38	0.088	17	0.068	45	0.096	28	0.120	73	0.160	
	" 40-55"	50	0.188	55	0.120	33	0.092	20	0.064	38	0.080	40	0.112	68	0.164	
	" 55-70"	56	0.196	60	0.112	45	0.096	24	0.064	39	0.084	34	0.112	58	0.172	
2. ○ 畑	注 射 前	47	0.132	44	0.120	38	0.108	36	0.060	82	0.084	60	0.076	66	0.220	脈搏增加 7 流涎量100cc 發汗 卅
	注射後 10-25分	43	0.220	47	0.200	41	0.112	41	0.060	78	0.096	65	0.080	67	0.240	
	" 25-40"	43	0.220	42	0.180	37	0.112	42	0.060	80	0.180	72	0.112	74	0.320	
	" 40-55"	45	0.200	51	0.180	45	0.100	48	0.060	75	0.160	70	0.096	84	0.320	
	" 55-70"	41	0.200	43	0.160	42	0.104	44	0.036	77	0.120	64	0.100	73	0.320	
3. ○ 部	注 射 前	63	0.212	62	0.120	45	0.200	21	0.056	58	0.076	56	0.064	63	0.120	脈搏增加 16 流涎量140cc 發汗 卅
	注射後 10-25分	41	0.244	47	0.240	40	0.200	27	0.056	47	0.092	65	0.072	47	0.120	
	" 25-40"	39	0.200	48	0.220	52	0.140	32	0.060	60	0.100	57	0.100	54	0.144	
	" 40-55"	42	0.240	50	0.212	45	0.180	32	0.056	48	0.120	49	0.080	58	0.200	
	" 55-70"	48	0.220	47	0.200	41	0.164	28	0.064	54	0.108	55	0.072	47	0.200	
4. ○ 倉	注 射 前	57	0.160	70	0.104	63	0.132	32	0.048	82	0.060	60	0.072	78	0.116	脈搏增加 11 流涎量185cc 發汗 卅
	注射後 10-25分	63	0.140	73	0.120	52	0.128	28	0.052	78	0.064	59	0.064	90	0.124	
	" 25-40"	55	0.144	58	0.112	64	0.140	30	0.052	77	0.064	64	0.064	72	0.140	
	" 40-55"	61	0.140	64	0.124	57	0.132	27	0.048	80	0.060	44	0.068	76	0.120	
	" 55-70"	67	0.120	69	0.088	58	0.128	25	0.052	73	0.064	57	0.076	85	0.112	
5. ○ 川	注 射 前	67	0.168	50	0.100	52	0.140	19	0.048	45	0.068	65	0.092	78	0.160	脈搏增加 15 流涎量150cc 發汗 +
	注射後 10-25分	72	0.180	47	0.100	56	0.160	23	0.052	53	0.064	62	0.080	84	0.140	
	" 25-40"	63	0.172	55	0.092	45	0.144	22	0.052	56	0.068	72	0.072	77	0.144	
	" 40-55"	58	0.176	44	0.096	60	0.164	23	0.048	41	0.072	79	0.084	77	0.120	
	" 55-70"	57	0.164	61	0.096	49	0.160	25	0.052	40	0.064	61	0.080	82	0.128	

ルビン」ニ依ル流涎量ハ150cc, 脈搏増加數ハ12, 發汗ハ輕度ニシテ「ピロカルピン」ニ對シテハ本例ハ前2例ニ比シテソノ敏感度ガ稍輕度ト思ハレル。

第4例 ○藤

本例モ第3例ト略同様ニ「ピロカルピン」注射後「クロナキシー」ノ短縮ヲ來タスモノヨリモ延長ヲ來タスモノガ多ク且ツ延長ノ程度モ可ナリ著明ナモノガ多イ。即チ三頭膊筋ニ於テハ全觀察時間ヲ通ジテ可ナリ著シイ短縮ヲ認め、淺屈指筋ニ於テハ一時的ニ短縮ヲ來タシ、次ニ注射前ノ價以上ニ延長スル他ハ總ベテノ神經、筋ニ著明ナル「クロナキシー」ノ延長ヲ來タス。但シ「ピロカルピン」ニ依ル流涎量ハ170cc, 發汗ハ甚ダ著明ニシテ脈搏増加數ハ10, 嘔氣, 尿意頻數ヲ伴ヒ「ピロカルピン」反應ハ前3例何レヨリモ敏感ナルモノト思ハレル。

第5例 ○松

本例ニ於テハ總指伸筋及ビ淺屈指筋ノ「クロナキシー」ハ稍短縮スルガ他ノ神經、筋ニ於テハスベテ輕度ノ延長ヲ呈スルノヲミル。正中神經ノ如ク一時的ニ輕度ノ短縮ヲ來タスモノモアル。而シテ「ピロカルピン」注射ニ依ル流涎量ハ140cc, 發汗ハ可ナリ著明, 脈搏増加數ハ10ニシテ「ピロカルピン」反應ハ輕度ナル方デアル。

(II) 緊張病

第1例 ○木

本例ニ於テハ橈骨神經, 二頭膊筋, 總指伸筋, ノ「クロナキシー」ガ輕度ニ延長スルモ, 正中, 尺骨神經, 三頭膊筋, 淺屈指筋ハ何レモ輕度ノ短縮ヲ認メル。

第2例 ○畑

本例ニ於テハ二頭膊筋ノ「クロナキシー」ノミハ全ク不變デアルガ他ノ神經, 筋ハ何レモ延長ヲ來シ相當ニ著明ナモノモアル。尙「ピロカルピン」ニ依ル脈搏ハ7, 發汗ハ可ナリ著明ナルモ流涎量ハ100ccニシテ多カラズ。

第3例 ○部

本例ノ尺骨神經「クロナキシー」ハ「ピロカルピン」ニ依ツテ輕度ノ短縮ヲ來スモ他ノ神經, 筋ニ於テハ何レモ相當ニ著明ナル「クロナキシー」ノ延長ヲ來ス。而シテ「ピロカルピン」ニ依ル脈搏増加數ハ1分間ニ16, 流涎量ハ140cc, 發汗稍著明デアル。

第4例 ○倉

橈骨神經, 淺屈指筋ニ於テハ特ニ前者ニ於テハ稍著シイ「クロナキシー」ノ短縮ヲ認め、他ノ神經, 筋ニ於テハ何レモ輕度ノ延長ヲ認メル。脈搏増加ハ11, 流涎量ハ185cc, 發汗著明ニシテ「ピロカルピン」反應強シ。

第5例 ○川

橈骨神經, 尺骨神經, 二頭膊筋何レニモ輕度ノ「クロナキシー」ノ延長ヲ, 正中神經及ビ前膊ノ兩筋ニ於テ特ニ總指伸筋ニ於テ著シイ短縮ヲ來タス。三頭膊筋「クロナキシー」ハ一時的ニ短縮シ、或ハ延長スルモ輕度ノ變動ヲ示スニ過ギナイ。流涎量ハ150cc, 脈搏増加ハ1分間ニ15, 發汗ハ輕度ナリ。

以上「ピロカルピン」ニ依ル運動クロナキシーヲ破瓜病, 緊張病兩型ニ就イテ比較テシミルニ, 破瓜病ニ於テハ或例ニ於テ可ナリ著明ナ「クロナキシー」ノ短縮ヲ來スモノモアルガ反對ニ著明ナ「クロナキシー」ノ延長ヲ來スモノモアル。且アル例ニ於テハ筋「クロナキシー」ガ可ナリ著シイ短縮ヲ來シ、神經「クロナキシー」ハ反對ニ著シイ延長ヲ來タスヤウナコトモ見ラレル。緊張病ニ於テハ一般ニ注射前ノ價ガ小サイ爲

モアルガ「ピロカルピン」ニ依ル「クロナキシー」ノ短縮ハ殆ソド認メラレズ、短縮スルモノガアツテモ、ソレハ極メテ軽度デアル。ムシロ著明ニ延長スルモノガ多ク短縮スルモノハ基ダ少ナイ。一般ニ「ピロカルピン」ニ依ル流涎、發汗、脈搏増加等ハ破瓜病ニ比シテ稍軽度ナモノモアルガ、ヨリ著シイモノモ存在スル。

d. 「カルチウム」ニ依ル變化(第4表)

(I) 破瓜病

第1例 ○崎

「カルチウム」注射ニ依ツテ唯尺骨神經ノ「クロナキシー」ノミハ極メテ軽度ノ短縮ヲ來タスモ他ノ神經及ビ上膊ノ各筋ニ於テハ輕度ノ、前膊ノ各筋ニ於テハ著明ナル「クロナキシー」ノ延長ヲ認メル。

第2例 ○田

本例ノ二頭膊筋ノ「クロナキシー」ハ全ク不變、三頭膊筋ハ輕度ノ短縮ヲ來ス。橈骨神經、總指伸筋ノ「クロナキシー」ハ著明ニ延長ヲ示シソノ他ノ神經、筋ニハ何レモ輕度ノ延長ヲミル。但シ正中神經ニ於テハ一時的ニ稍著シイ短縮ヲミル。

第3例 ○○谷

本例ニ於テハ各神經、筋何レノ「クロナキシー」モ「カルチウム」注射ニ依テ著明ナル延長ヲ呈シテキル。

第4例 ○藤

本例ニ於テモ第3例ト同ジク各神經、筋ノ「クロナキシー」ハ何レモ著明ニ延長スル。特ニ伸展側即チ橈骨神經、三頭膊筋、總指伸筋ニ於テ延長ガ著シイ。

第5例 ○松

本例ニ於テハ橈骨神經ノ「クロナキシー」ガ稍著シイ延長ヲ來タスノミニシテ他ノ神經、筋ノ「クロナキシー」ハ延長スルモノモ、短縮スルモノモソノ程度ハ極メテ輕度ニ過ギナイ。

(II) 緊張病

第1例 ○木

各神經、筋ヲ通ジテ一般ニソノ「クロナキシー」ハ延長スル傾向ヲ有スルモ基ダ輕度デアル。總指伸筋ノミハ可ナリ著明ナル延長ヲ呈スル。

第2例 ○畑

本例ニ於テモ各神經、筋何レモ「カルチウム」注射ニ依ツテ「クロナキシー」ノ延長ヲ來シ、就中總指伸筋、正中神經ニ於テ著明ナル「クロナキシー」ノ延長ヲ認メル。

第3例 ○部

正中神經ノ「クロナキシー」ハ可ナリ著明ナル延長ヲ來タスモ他ノ神經、筋ハ何レモ極メテ輕度ノ延長ヲ呈スルニ過ギナイ。且ツ橈骨、尺骨神經、淺屈指筋ニ於テハ一時的ニ短縮ヲ來スノヲ認メル。

第4例 ○倉

三頭膊筋、淺屈指筋ヲ除ク他ノ神經、筋ニ於テハ何レモ輕度ノ「クロナキシー」ノ延長ヲ來タス。三頭膊筋、淺屈指筋ニハ殆ソド變化ヲミナイ。

第5例 ○川

本例ニ於テハ總ベテノ神經、筋ニ「クロナキシー」ノ延長ヲ認メル。伸展側ノ神經、筋ニ於テハソノ延長ハ稍著明デアル。

第 4 表 「カルチウム」ニ依ル變化

		(I) 破 瓜 病																注 射 量
		橈骨神経		正中神経		尺骨神経		二頭膊筋		三頭膊筋		浅屈指筋		總指伸筋				
		レ オ バーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)	レ オ バーゼ (ボルト)	クロナ キシー (シグマ)			
1. ○ 崎	注 射 前	59	0.140	56	0.180	65	0.168	24	0.100	62	0.140	63	0.080	70	0.160			
	注射後 10-25分	55	0.192	60	0.180	40	0.168	24	0.100	55	0.140	78	0.140	76	0.280			
	” 25-40 ”	61	0.200	57	0.200	65	0.156	22	0.112	58	0.140	81	0.120	77	0.320			
	” 40-55 ”	65	0.180	53	0.180	52	0.160	26	0.100	63	0.160	81	0.128	70	0.288			
	” 55-70 ”	60	0.172	58	0.180	59	0.164	21	0.100	60	0.156	75	0.120	81	0.240			
2. ○ 田	注 射 前	48	0.300	25	0.240	30	0.192	25	0.056	47	0.088	38	0.092	72	0.220			
	注射後 10-25分	38	0.340	30	0.200	29	0.200	23	0.056	43	0.088	36	0.092	63	0.340			
	” 25-40 ”	40	0.340	32	0.280	31	0.200	27	0.056	51	0.084	30	0.080	73	0.520			
	” 40-55 ”	45	0.400	33	0.292	30	0.224	20	0.056	52	0.084	56	0.100	72	0.480			
	” 55-70 ”	41	0.380	29	0.280	33	0.220	24	0.056	50	0.084	51	0.100	68	0.440			
3. ○ ○ 谷	注 射 前	50	0.180	49	0.140	41	0.120	25	0.080	58	0.128	58	0.138	88	0.156			
	注射後 10-25分	52	0.200	52	0.148	39	0.120	25	0.030	58	0.128	56	0.140	74	0.200			
	” 25-40 ”	41	0.280	48	0.156	41	0.140	40	0.100	41	0.120	66	0.152	75	0.160			
	” 40-55 ”	46	0.332	62	0.228	36	0.180	41	0.120	78	0.180	62	0.148	82	0.192			
	” 55-70 ”	46	0.320	51	0.228	43	0.160	29	0.140	58	0.212	56	0.216	65	0.192			
4. ○ 藤	注 射 前	45	0.200	35	0.148	42	0.144	21	0.080	42	0.144	40	0.124	62	0.208			
	注射後 10-25分	44	0.200	33	0.160	40	0.192	21	0.080	41	0.144	40	0.124	60	0.208			
	” 25-40 ”	50	0.280	32	0.176	45	0.256	20	0.100	44	0.180	53	0.124	58	0.280			
	” 40-55 ”	42	0.280	28	0.220	38	0.320	19	0.120	38	0.252	45	0.144	65	0.308			
	” 55-70 ”	49	0.280	31	0.200	41	0.300	20	0.108	40	0.240	42	0.140	66	0.312			
5. ○ 松	注 射 前	48	0.244	36	0.280	42	0.240	36	0.076	38	0.120	40	0.120	66	0.192			
	注射後 10-25分	54	0.240	37	0.260	42	0.224	31	0.076	45	0.100	45	0.100	53	0.196			
	” 25-40 ”	64	0.320	41	0.288	49	0.240	35	0.080	45	0.148	43	0.120	63	0.220			
	” 40-55 ”	66	0.320	35	0.288	54	0.228	32	0.076	41	0.120	51	0.120	60	0.220			
	” 55-70 ”	60	0.292	45	0.280	43	0.220	32	0.076	40	0.120	40	0.116	60	0.200			

早發性痲痺症(精神痲痺症)ニ於ケル植物神經系障碍ト運動クロナキシールノ關係ニ就テノ研究

(II) 緊 張 病																
1. ○ 木	注 射 前	57	0.200	51	0.136	45	0.100	21	0.076	38	0.092	30	0.096	63	0.124	3% 20cc
	注射後 10-25分	60	0.212	48	0.140	47	0.104	20	0.076	40	0.092	35	0.096	64	0.130	
	" 25-40 "	58	0.220	50	0.160	44	0.112	22	0.080	39	0.096	32	0.100	60	0.180	
	" 40-55 "	64	0.232	49	0.200	42	0.112	19	0.076	38	0.096	35	0.100	57	0.184	
	" 55-70 "	60	0.216	45	0.180	44	0.120	20	0.076	45	0.092	31	0.100	65	0.180	
2. ○ 畑	注 射 前	40	0.156	53	0.108	39	0.090	38	0.052	41	0.080	50	0.060	60	0.220	3% 20cc
	注射後 10-25分	43	0.140	60	0.140	37	0.094	44	0.058	43	0.080	61	0.080	63	0.280	
	" 25-40 "	51	0.160	61	0.160	40	0.098	43	0.056	46	0.084	75	0.100	58	0.600	
	" 40-55 "	44	0.200	70	0.160	37	0.120	61	0.056	39	0.080	56	0.080	71	0.640	
	" 55-70 "	61	0.148	54	0.200	41	0.112	64	0.056	47	0.080	65	0.080	63	0.640	
3. ○ 部	注 射 前	68	0.200	60	0.152	60	0.148	41	0.060	38	0.060	68	0.100	45	0.160	2% 25cc
	注射後 10-25分	46	0.180	60	0.200	61	0.120	49	0.060	36	0.060	70	0.080	52	0.184	
	" 25-40 "	45	0.200	56	0.240	55	0.148	46	0.060	37	0.060	73	0.100	65	0.160	
	" 40-55 "	62	0.208	55	0.188	58	0.140	46	0.060	38	0.060	68	0.112	62	0.172	
	" 55-70 "	56	0.200	58	0.192	57	0.152	44	0.060	40	0.060	70	0.108	60	0.164	
4. ○ 倉	注 射 前	74	0.180	85	0.112	54	0.104	42	0.048	80	0.056	62	0.060	79	0.112	2% 20cc
	注射後 10-25分	68	0.176	84	0.120	60	0.112	49	0.052	87	0.056	59	0.056	76	0.120	
	" 25-40 "	70	0.192	78	0.132	60	0.116	45	0.052	80	0.056	63	0.060	72	0.136	
	" 40-55 "	72	0.200	80	0.140	62	0.120	55	0.052	78	0.056	64	0.060	68	0.144	
	" 55-70 "	69	0.200	77	0.140	58	0.112	48	0.052	81	0.056	60	0.056	69	1.140	
5. ○ 川	注 射 前	53	0.140	60	0.120	47	0.100	23	0.048	50	0.060	73	0.096	61	0.120	2% 20cc
	注射後 10-25分	49	0.148	73	0.140	50	0.112	22	0.052	43	0.064	58	0.096	70	0.164	
	" 25-40 "	58	0.144	68	0.144	43	0.136	25	0.060	48	0.060	55	0.092	72	0.160	
	" 40-55 "	62	0.180	67	0.112	51	0.140	19	0.060	52	0.080	72	0.096	68	0.148	
	" 55-70 "	60	0.160	70	0.116	52	0.120	21	0.056	46	0.068	70	0.100	73	0.172	

以上「カルチウム」ニ依ル變化ヲミルニ破瓜病ニ於テハ一般ニ「クロナキシー」ハ延長シ、特ニ各神經及ビ總指伸筋ニ於テ相當著明デア。然シナガラ「アトロピン」、「アドレナリン」ニ依ル延長ホド著シクハナイモノガ多イ。緊張病ニ於テハ「クロナキシー」ノ延長ハ一般ニ破瓜病ノ如ク著シクハナイガ相當ニ著明ナ延長ヲミル例モアル。

e. 「カリウム」ニ依ル變化(第5表)

(I) 破瓜病

第1例 ○崎

本例ニテハ一部ノ神經、筋ノ「クロナキシー」ハ「カリウム」ノ注射ニ依ツテ一時的ニ或ハ相當長時間ニ亘ツテ輕度ノ延長ヲ來タスモノモアルガ一般ニハ「クロナキシー」ノ短縮ガミラレル。

第2例 ○田

本例ニ於テハ前第1例トハ反對ニ「クロナキシー」ガ輕度ニ延長スルモノガ多イ。

第3例 ○○谷

本例ニ於テハ「クロナキシー」ノ延長スルモノヨリハ短縮スルモノガ多ク且延長ハ何レモ輕度ニ過ギナイガ短縮ハ總指伸筋ノ如ク甚ダ著明ナモノモアル。

(II) 緊張病

第1例 ○木

本例ニ於テハ二頭膊筋ノ如ク可ナリ「クロナキシー」ノ短縮スルモノモアルガ他ハ殆ンド總ベテ延長スル。特ニ橈骨神經ノ「クロナキシー」ノ延長ハ著明デア。

第2例 ○畑

本例ニ於テハ「クロナキシー」ノ變動ハ何レノ神經、筋ニ於テモ極メテ輕度デ大多數ノモノハ短縮スル傾向ヲ呈シテキル。

第3例 ○川

本例ニ於テハ神經、筋スベテ輕度ナガラ「クロナキシー」ノ短縮ヲ來タス。

第5表 「カリウム」ニ依ル影響

	機骨神經		正中神經		尺骨神經		二頭膊筋		三頭膊筋		淺屈指筋		總指伸筋	
	オレバ(ボルト)	クロナキシー(シクマ)	オレバ(ボルト)	クロナキシー(シクマ)	オレバ(ボルト)	クロナキシー(シクマ)	オレバ(ボルト)	クロナキシー(シクマ)	オレバ(ボルト)	クロナキシー(シクマ)	オレバ(ボルト)	クロナキシー(シクマ)	オレバ(ボルト)	クロナキシー(シクマ)
1. ○ 崎	注射前	48	35	36	25	53	44	75	0.212	0.128	0.088	0.128	0.088	0.128
	注射後 10-25分	51	28	43	25	39	51	77	0.200	0.120	0.080	0.120	0.080	0.120
	" 25-40分	55	47	38	21	43	50	82	0.180	0.132	0.080	0.132	0.080	0.132
	" 40-55分	43	32	32	27	44	48	70	0.192	0.140	0.084	0.140	0.084	0.140
	" 55-70分	56	33	47	25	48	47	68	0.184	0.152	0.084	0.152	0.084	0.152
														5cc 3%

2. ○ 田	注 射 前	42	0.320	35	0.248	45	0.200	18	0.060	52	0.088	44	0.124	44	0.280	2% 10cc
	注射後 10-25分	35	0.328	45	0.240	52	0.240	21	0.060	67	0.100	38	0.132	50	0.264	
	" 25-40 "	38	0.340	51	0.244	39	0.248	20	0.060	56	0.120	52	0.120	62	0.284	
	" 40-55 "	32	0.320	52	0.252	44	0.212	19	0.056	48	0.100	56	0.128	41	0.280	
	" 55-70 "	37	0.324	44	0.260	48	0.240	22	0.056	52	0.108	57	0.120	48	0.260	
3. ○ ○ 谷	注 射 前	58	0.240	52	0.240	41	0.120	20	0.068	40	0.080	49	0.092	49	0.240	3% 5cc
	注射後 10-25分	53	0.260	47	0.200	43	0.116	28	0.052	33	0.060	55	0.092	44	0.200	
	" 25-40 "	52	0.256	52	0.200	40	0.120	21	0.060	28	0.092	49	0.100	44	0.120	
	" 40-55 "	52	0.320	52	0.240	39	0.112	21	0.092	24	0.092	47	0.096	43	0.100	
	" 55-70 "	55	0.280	49	0.220	45	0.112	22	0.072	26	0.088	50	0.100	39	0.172	
(II) 緊 張 病																
1. ○ 木	注 射 前	59	0.240	47	0.160	38	0.096	17	0.080	67	0.120	28	0.132	75	0.240	3% 5cc
	注射後 10-25分	70	0.400	41	0.160	43	0.096	16	0.068	76	0.148	27	0.132	84	0.220	
	" 25-40 "	84	0.440	41	0.172	40	0.100	17	0.068	67	0.160	32	1.140	83	0.268	
	" 40-55 "	55	0.320	48	0.168	37	0.100	17	0.072	70	0.124	38	0.132	79	0.240	
	" 55-70 "	65	0.300	40	0.164	50	0.092	19	0.072	77	0.132	34	0.124	80	0.240	
2. ○ 畑	注 射 前	36	0.212	42	0.200	55	0.100	23	0.056	32	0.060	56	0.088	73	0.240	1.5% 10cc
	注射後 10-25分	38	0.220	41	0.200	52	0.100	24	0.056	39	0.060	49	0.092	68	0.220	
	" 25-40 "	45	0.200	41	0.196	48	0.092	21	0.060	31	0.064	54	0.088	70	0.200	
	" 40-55 "	40	0.200	45	0.192	50	0.092	26	0.060	29	0.056	53	0.088	65	0.244	
	" 55-70 "	37	0.208	39	0.196	53	0.096	25	0.056	24	0.060	50	0.092	71	0.240	
3. ○ 川	注 射 前	61	0.164	52	0.136	43	0.104	23	0.052	41	0.072	66	0.096	72	0.132	1.5% 10cc
	注射後 10-25分	59	0.160	55	0.120	48	0.100	19	0.048	38	0.072	48	0.092	68	0.112	
	" 25-40 "	62	0.152	48	0.124	53	0.096	20	0.048	33	0.060	54	0.096	75	0.120	
	" 40-55 "	54	0.164	47	0.116	44	0.096	21	0.052	40	0.064	52	0.096	71	0.120	
	" 55-70 "	52	0.160	55	0.120	47	0.100	20	0.056	39	0.060	61	0.092	69	0.120	

f. 「ブルボカブニン」ニ依ル變化(第6表)

(I) 破瓜病

第1例 ○崎

「ブルボカブニン」0.2gノ注射ニ依ツテ30分前後ニシテ睡眠ヲ催ス。「クロナキシー」ハ一般ニ輕度ノ延長ヲ呈スル。然シ全ク不變ノモノ或ハ一時ニ輕度ノ短縮ヲ來タス筋モアル。

第2例 ○田

本例ニ於テモ「ブルボカブニン」ニ依ル「クロナキシー」ノ變化ハ極メテ輕度ナモノガ多ク僅カニ橈骨神經ニ於テハ短縮ノ、正中神經ニ於テハ延長ノ稍著シイヲ認メルニ過ギス。後半ニ至リテ睡眠ニ入ル。

第3例 ○○谷

「ブルボカブニン」0.3g注射。正中神經、三頭膊筋ニハ「クロナキシー」ノ短縮ヲ、橈骨神經ニハ延長ヲ來タス。他ノ神經、筋ニアツテハ一時輕度ノ「クロナキシー」ノ延長ヲ來タスガ間モナク注射前ノ價以下ニ短縮スルモノガ多イ。

(II) 緊張病

第1例 ○木

0.2gノ「ブルボカブニン」ノ注射ニ依ツテ總ベテノ神經、筋ノ「クロナキシー」ハ等シク著明ナル延長ヲ示ス。後半ニ於テ睡眠ニ入ル。

第2例 ○畑

0.2gノ「ブルボカブニン」注射後正中神經及尺骨前膊筋ニ於テ著明ナル「クロナキシー」ノ短縮ニ呈スル。然ルニ橈骨神經、及ビ尺骨神經ニ於テハ著シイ「クロナキシー」ノ延長ヲ來タス。上膊筋ノ「クロナキシー」ノ變化ハ極メテ輕度ナル。前例ト同ジク後半ニ睡眠ヲ催ス。

第3例 ○川

「ブルボカブニン」0.3g注射。橈骨神經、尺骨神經、淺屈指筋ニハ輕度ノ「クロナキシー」ノ短縮ヲ、ソノ他ノ神經、筋ニ於テハ一時輕度ノ延長ヲ呈シ次ニ輕度ノ短縮ヲ來タスモノガ多イ。

第6表 「ブルボカブニン」ニ依ル變化

筋	使用量		總指伸筋		淺屈指筋		三頭膊筋		二頭膊筋		尺骨神經		正中神經		橈骨神經	
	オレバ	オロキ	オレバ	オロキ	オレバ	オロキ	オレバ	オロキ	オレバ	オロキ	オレバ	オロキ	オレバ	オロキ	オレバ	オロキ
1, ○ 崎	0.2g	0.180	64	0.160	60	0.120	60	0.112	23	0.120	39	0.164	49	0.280	50	0.280
注射前		0.140	56	0.180	77	0.120	38	0.120	26	0.124	45	0.200	56	0.280	65	0.280
注射後 10-25分		0.200	57	0.200	80	0.120	40	0.120	28	0.132	42	0.160	61	0.300	62	0.300
" 25-40分		0.180	55	0.164	70	0.120	37	0.128	30	0.128	43	0.200	55	0.280	60	0.280
" 40-55分		0.140	55	0.240	73	0.120	39	0.180	50	0.128	46	0.292	56	0.280	50	0.280
" 55-70分																

2. ○ 田	注 射 前	41	0.320	41	0.200	36	0.120	30	0.076	43	0.092	39	0.120	68	0.200	0.2g
	注射後 10-25分	45	0.320	41	0.200	44	0.148	32	0.080	45	0.100	38	0.120	65	0.200	
	" 25-40"	41	0.300	35	0.300	41	0.180	29	0.072	48	0.092	41	0.120	53	0.200	
	" 40-55"	42	0.300	42	0.300	42	0.200	35	0.072	41	0.096	47	0.128	59	0.204	
	" 55-70"	44	0.260	39	0.200	40	0.180	34	0.072	45	0.100	45	0.120	65	0.204	
3. ○ ○ 谷	注 射 前	48	0.180	53	0.164	38	0.172	26	0.076	53	0.124	48	0.136	77	0.236	0.3g
	注射後 10-20分	41	0.240	49	0.140	41	0.180	31	0.072	54	0.116	53	0.140	78	0.240	
	" 25-40"	50	0.208	55	0.132	33	0.164	25	0.076	62	0.112	58	0.124	65	0.224	
	" 40-55"	43	0.192	58	0.140	36	0.160	24	0.080	48	0.116	62	0.120	83	0.220	
	" 55-70"	52	0.196	50	0.128	31	0.168	29	0.068	53	0.100	57	0.132	72	0.200	
(II) 緊 張 病																
1. ○ 木	注 射 前	76	0.240	45	0.160	31	0.176	25	0.080	20	0.116	19	0.160	67	0.180	0.2g
	注射後 10-25分	66	0.280	33	0.200	40	0.220	25	0.076	28	0.120	22	0.160	65	0.200	
	" 25-40"	75	0.400	48	0.240	37	0.260	26	0.084	30	0.132	19	0.188	57	0.200	
	" 40-55"	75	0.340	45	0.260	32	0.320	24	0.156	34	0.180	23	0.240	66	0.260	
	" 55-70"	61	0.380	40	0.228	27	0.260	25	0.140	39	0.200	31	0.260	50	0.320	
2. ○ 畑	注 射 前	50	0.280	56	0.280	47	0.120	28	0.052	32	0.064	54	0.120	62	0.212	0.2g
	注射後 10-25分	50	0.280	53	0.240	50	0.140	27	0.056	30	0.064	53	0.120	49	0.212	
	" 25-40"	54	0.360	57	0.200	38	0.200	28	0.060	27	0.060	59	0.100	60	0.100	
	" 40-55"	51	0.400	58	0.192	40	0.208	28	0.060	28	0.064	48	0.100	53	0.096	
	" 55-70"	55	0.340	54	0.200	45	0.200	21	0.056	24	0.060	54	0.108	57	0.100	
3. ○ 川	注 射 前	58	0.144	45	0.104	40	0.148	19	0.056	31	0.068	48	0.112	72	0.148	0.3g
	注射後 10-25分	53	0.120	43	0.108	39	0.120	25	0.056	29	0.072	53	0.100	69	0.152	
	" 25-40"	61	0.132	50	0.100	52	0.128	26	0.060	35	0.060	47	0.108	71	0.140	
	" 40-55"	55	0.140	48	0.096	38	0.108	20	0.060	40	0.060	50	0.100	66	0.144	
	" 55-70"	60	0.124	51	0.100	42	0.132	23	0.052	39	0.064	47	0.092	71	0.164	

3. 總 括

以上ノ成績ヲ總括シテ見レバ第7表ノ如クデアル。(卅ハ「クロナキシー」延長ノ著明ナルモノ、卅ハ中等度、十ハ輕度、一ハ短縮スルモノ、±ハ延長、短縮何レモ輕度ニシテソノ數相半パスルモノ、括弧内ハ「アトロピン」「ピロカルピン」「アドレナリン」ニ對スル敏感度デアル)。即チ「アトロピン」ニ對スル反應即チ敏感度ノ弱ハイ破瓜病ニ於テハ「アトロピン」ニ依ツテソノ運動クロナキシーハ著明ニ延長スルガ「アトロピン」反應ノ強度デアル緊張病ニ於テハ「クロナキシー」ノ延長ハ甚ダ輕度ニシテムシロ反對ニ短縮スル傾向ヲサヘ呈スルモノガ認メラレル。「アドレナリン」ニ對シテハ破瓜病、緊張病間ニハソノ敏感度ニ於テハ殆ド差異

第 7 表

		アトロピン	アドレナリン	ピロカルピン	カルチウム	カリウム	ブルボカブニン
破瓜病	1. ○ 崎	+	卅 (+)	± (+)	卅	—	+
	2. ○ 田	卅 (—)	卅 (—)	— (+)	卅	+	±
	3. ○○谷	卅 (—)	卅 (卅)	± (+)	卅	±	±
	4. ○ 藤	卅 (—)	卅 (+)	± (卅)	卅		
	5. ○ 松	卅 (—)	卅 (+)	± (+)	卅		
緊張病	1. ○ 木	± (卅)	+	± (+)	卅	卅	卅
	2. ○ 畑	± (卅)	± (+)	+	卅	±	±
	3. ○ 部	± (卅)	+	± (+)	+	—	—
	4. ○ 倉	± (+)	+	± (卅)	+		
	5. ○ 川	+	± (—)	± (+)	卅		

ヲ認メナイガ「クロナキシー」ノ延長ハ前者ニ於テハ甚ダ著明デアルモ後者ニ於テハ極メテ輕度デアル。「ピロカルピン」ニ對スル反應ハ破瓜病ヨリハ緊張病ニ於テ稍強イガ「クロナキシー」ノ短縮ハムシロ破瓜病ニ於テ強度デアル。要スルニ「アトロピン」「アドレナリン」「ピロカルピン」等ノ植物神經毒ニ對スル反應ガ強度デナイ即チ植物神經系ニ著明ナル障礙ノ認メラレナイ破瓜病ニ於テハ以上ノ藥物ニ依ル運動クロナキシーノ變化ハ「アトロピン」「アドレナリン」ニ依ツテハ延長シ「ピロカルピン」ニ依ツテハ短縮スル故ニ殆ド正常ノ反應ト思ハレル、然ルニ緊張病ニ於テハ副交感神經系ニ作用スル「アトロピン」「ピロカルピン」特ニ「アトロピン」ニ對スル反應ハ甚ダ著明デアルニモカ、ハラズ「クロナキシー」ノ變化ハ極メテ輕度ニ過ギナイ。即チ「アトロピン」「アドレナリン」ニ依ル「クロナキシー」ノ延長及ビ「ピロカルピン」ニ依ル「クロナキシー」ノ短縮ハ極メテ輕度デアツテ、「アトロピン」ニ依ツテハムシロ短縮シ、「ピロカルピン」ニ依ツテハムシロ延長スル傾向ヲサヘ認メラレル。斯クノ如ク「アトロピン」ニ依ツテ「クロナキシー」ガ短縮シ、「ピロカルピン」ニ依ツテ延長スルガ如キ逆反應ハ St. Weisz 氏ハ進行性筋萎縮症ニ於テ「アドレナリン」ニ依ツテ筋ノ運動クロナキシーガ短縮スル時期ガアリ、H. Altenburger ハ交感神經ヲ切除シタ側ノ「クロナキシー」ハ植物神經毒ソノ他ノ藥物ニ依ツテ健康側トハ反對ニ變化シ、(例ヘバ「カルチウム」「アドレナリン」ニ依ツ

テ健康側ノ「クロナキシー」ハ延長シ「ピロカルピン」「カリウム」ニ依ツテハ短縮スルモ交感神経ヲ切除シタ側デハ「カルチウム」「アドレナリン」ニ依ツテ「クロナキシー」ハ短縮シ、「カリウム」「ピロカルピン」ニ依ツテハ延長スル)又大腦ヲ除去シタ動物ニ於テ交感神経ヲ刺戟スレバ健康ナル動物ニ於ケルトハ反對ニ「クロナキシー」ガ短縮スル(健康動物ニ於テハ交感神経刺戟ハ「クロナキシー」ヲ延長シ、副交感神経刺戟ハ短縮セシメル)ガ如キ逆反應ヲ呈スルト述ベテキル。余ノ實驗ニ於テモ「アトロピン」「ピロカルピン」就中「アトロピン」ニ依ツテ緊張病ノ「クロナキシー」ガカカル反應ヲ呈シテキルモノト考ヘラレル。即チカハル逆反應ガ「クロナキシー」ニ於テモ認メラレルコトハ緊張病ノ植物神経系ガ破瓜病ニ比シテ強ク障害サレテキルコトヲ證スルニ足ルモノト思ハレル。

「カルチウム」ニ依ル「クロナキシー」ノ延長、「カリウム」ニ依ル短縮何レモ緊張病ニ於テ稍輕度ナルヲ認メルモ「カルチウム」ニ依ル延長ハ緊張病ニ於テハ「アトロピン」「アドレナリン」ニ比較シテ甚ダ著明ナルヲ認メル。

「ブルボカブニン」ノ 0.2—0.3g ハ單ニ睡眠ヲ催サシメルノミニシテ動物ニ於ケルガ如キ「カタレプシー」様症狀ヲ呈セシメルコトハナキモ「クロナキシー」ノ短縮スル傾向ハ認メラレル。且ツ緊張病ニ於テハ他ノ前述ノ何レノ藥物ニ於ケルト同様ニソノ變化ハ輕度デアル。

要スルニ上述ノ各藥物ニ依ル運動クロナキシーノ變化ハ何レモ緊張病ニ於テハ破瓜病ニ於ケルヨリモ輕度ニシテ特ニ「アトロピン」「アドレナリン」試験ニ於テハ輕ルク、且ツ「アトロピン」「ピロカルピン」試験ニ於テハムシロ逆反應ヲ呈スルモ、獨リ「カルチウム」ニ依ル「クロナキシー」ノ變化ノミハ破瓜病ト殆ド差異ナキ程度ニ著明ニ延長スルヲ認メル。

4. 結 論

以上3編ニ亙ツテ述ベタ所ノ結論ハ次ノ如クデアル。早發性痴呆症ノ破瓜病ト緊張病ノ2型ニ就イテハ破瓜病ノ植物神経障害ハ一般ニ輕度ニシテ緊張病ノ昏迷状態ニアルモノハソノ植物神経障害ハ著明ニシテ身體的症狀トトモニ植物神経系機能検査ニ於テモ Vagotonieニ屬スルモノガ多イ。而シテコノ緊張病ノ植物神経障害ハ他ノ身體的並ニ精神的症狀ノ輕快スルトトモニ快復シテ正常状態ニ近ヅク。他方植物神経障害ノ著明ナル緊張病ニ於テハソノ運動クロナキシーハ著シク短縮シテキルガ破瓜病ニ於テハ殆ド正常價ト變ラヌ。且ツ緊張病ノスク異狀ニ短縮シタ運動クロナキシーモ他ノ精神並ニ身體的症狀ノ快復スルニ連レテ正常値ニ近ヅク。而シテスクノ如ク植物神経障害ヲ有シ、短縮シタル「クロナキシー」ヲ呈スル緊張病ノ運動クロナキシーハ「アトロピン」「アドレナリン」「ピロカルピン」ノ植物神經毒或ハ「カリウム」「カルチウム」「ブルボカブニン」等ノ藥物ニ依ツテ變化スル程度ハ何レノ藥物ノ場合ニ於テモ破瓜病ニ比シテハ輕度デアリ、「アトロピン」「ピロカルピン」ニ依ツテハムシロ逆反應ヲ呈スル。尙以上ノ藥物中「クロナキシー」ヲ延長セシメル「アトロピン」「アドレナリン」ニ依ル緊張病ノ運動クロナキシーノ延長ハ甚ダ輕度デアルニモカ、ハラズ、獨リ「カルチウム」ノ場合ニ於テハ殆ド破瓜病ニ於ケルト同様ニ甚ダ著明ナル延長ヲ來タス故ニ

「クロナキシー」ノ變化ノミヨリ見レバ緊張病ノ Vagotonie ニハ「アトロピン」ヨリハムシロ
「カルチウム」ガヨリ効果的ニ作用スルモノト考ヘラレル。

(終リニ臨ミ早尾教授ノ御指導御校閱ニ對シテ深ク感謝ノ意ヲ表ス。)

主 要 文 獻

- 1) **H. Altenburger** : Vegetative Regulation cerebrospinaler Funktionen. Z. Neur. Bd. 144, 1934.
- 2) **St. Weisz** : Beitræge zur Chronaxie des neuromuskulaeren Apparates. Dtsch. Z. Nervenheilk. Bd. 121, 1931.
- 3) **St. Weisz** : Ueber die vegetative Innervation des quergestreiften Muskels. Adrenalin-Wirkung der progr. Muskeldystophie. Dtsch. Z. Nervenheilk. Bd. 121, 1931.
- 4) **St. Weisz** : Ueber die vegetative Innervation des quergestreiften Muskels. 3 Mitt. Dtsch. Z. Nervenheilk. Bd. 122, 1931.
- 5) **Spiegel** : Zur Pharmakologie der zentralen Tonusinervation. Dtsch. Z. Nervenheilk. Bd. 124, 1932.
- 6) Einundzwanzigste Jahresversammlung der Gesellschaft Deutscher Nervenærzte in Wiesbaden. Dtsch. Z. Nervenheilk. Bd. 129, 1933.
- 7) **Radovici, A.** : Die Neuromuskulaere Erregbarkeit als vegetativer Test. Ref. Zentralbl. Neur. Bd. 61, 1921.